

●北九州スタジアムいよいよ完成!



サッカーJ1仕様、15,000人収容の北九州スタジアムが、来年1月いよいよ完成します。今回の議会では、オープニングイベントとして、2月開催予定のスーパーラグビーのサンウルブズとトップリーグ選抜の試合が補正予算3,450万円で計上され、またワールドラグビー公認の7人制女子ラグビーの国際大会「HBSC女子セブンズリーグ2016-2017」の第3戦日本大会が4月22・23日に開催されます。現在ギラヴァンツ北九州はJ3陥落のピンチですが、みんなで応援して行きましょう!

●まちづくりの代表として! (地域活動報告)

足原校区まちづくり協議会と自治連合会の会長として3年目を迎えました。地域の絆を深めるためには一緒に問題意識を持ちやすい活動をするのが不可欠と考え、昨年度は足原校区の自然災害時の地域防災計画を策定する「みんなでBousai会議」を5回開催し、今年度は計画策定と避難訓練を実施します。高齢化については社会福祉協議会と共催で「認知症徘徊検索模擬訓練」を開催してきました。今年度からは子どもの貧困問題に少しでもお役にたてればと「足原こども食堂」をオープンしました。来年度に向けては、足原校区のシビックプライド(都市に誇りや愛着を持つこと)を醸成するために、足原校区に居住した松本清張先生にちなんで市民センターに清張文庫を開設し、また校区を縦走する湯川赤坂線に通り名を命名していきたいと思ひます。足原校区の活性化から学んだことを北九州市の活性化につなげていきたいと思ひます。



足原校区まちづくり協議会と自治連合会の会長として3年目を迎えました。地域の絆を深めるためには一緒に問題意識を持ちやすい活動をするのが不可欠と考え、昨年度は足原校区の自然災害時の地域防災計画を策定する「みんなでBousai会議」を5回開催し、今年度は計画策定と避難訓練を実施します。高齢化については社会福祉協議会と共催で「認知症徘徊検索模擬訓練」を開催してきました。今年度からは子どもの貧困問題に少しでもお役にたてればと「足原こども食堂」をオープンしました。来年度に向けては、足原校区のシビックプライド(都市に誇りや愛着を持つこと)を醸成するために、足原校区に居住した松本清張先生にちなんで市民センターに清張文庫を開設し、また校区を縦走する湯川赤坂線に通り名を命名していきたいと思ひます。足原校区の活性化から学んだことを北九州市の活性化につなげていきたいと思ひます。

●来年も北九州マラソンが開催されます

今年、妻とペアリレーマラソンに参加し何とか完走を遂げました「北九州マラソン」が来年も開催されます。日時は、2017年2月19日 9:00スタート。コースは昨年と同じで、1万人以上が参加するビッグイベント。当日の消費はもちろん、シューズやウェアの購入など経済波及効果も抜群です。



中村よしおプロフィール 作業療法士(リハビリの専門職)

- 昭和39年5月12日生まれ(52歳)
- 徳香幼稚園、横代小学校、横代中学校、小倉南高校(テニス部)を経て国立療養所福岡東リハビリテーション学院作業療法学科を卒業(作業療法士免許取得)
- 民間医療機関で作業療法士として7年間勤務
- 1993年 北九州市役所に入職(10年間勤務)
- 2003年4月 小倉リハビリテーション学院作業療法学科教務部長
- 2005年1月 北九州市議会議員選挙に挑戦、初当選
- 2009年2月 北九州市議会議員選挙2期目当選
- 2011年4月 新会派「議員定数削減北九州」結成
- 2012年8月 議員定数削減 54,701名の署名を集め、直接請求を行う
- 2013年1月 北九州市議会議員選挙3期目当選
- 2013年2月 ハートフル北九州入会

(役職)
北九州市ソフトボールスポーツ少年団顧問/小倉南北少年ソフトボール連盟顧問/小倉南北小学生バレーボール連盟会長/小倉区剣道連盟顧問/北九州市食品衛生協議会顧問/勝山足立ライオンズクラブ会員/小倉北美術連盟顧問/(社)福岡県作業療法協会顧問/小倉北消防団第3分団顧問/足原校区まちづくり協議会会長/足原校区自治連合会長/足立北町内会長/社会福祉法人理事/NPO法人理事/第64代小倉高校野球部父母会長/元小倉北区中学校PTA連合会長/元霧丘中学校PTA会長/元足原小学校PTA会長/保護司/日本バーテンダー協会北九州支部顧問



中村よしお事務所 〒802-0043
北九州市小倉北区足原2丁目1-39
TEL (093) 932-8533 FAX (093) 922-8277
E-mail●nakamura-y3226@nifty.com URL●http://www.nakamura-yoshio.jp/

北九州リハビリ報告

vol. **29**

北九州市議会議員 中村 よしお

2016.10.5

★北九州浮上の期待の星☆ 海の上の発電所 洋上風力発電!!



若松区響灘地区では太陽光発電、バイオマス混焼発電および風力発電等のエネルギー産業の集積を目指した「グリーンエネルギーポートひびき」事業を立ち上げ段階的に実施しています。

この事業の中の現在計画中のバイオマス混焼発電が稼働すれば、3ヶ所合計約30万KW、原発1基が発電する電力の約30%の発電ができるようになります。

洋上作業イメージ(英国・ラウンド3のケース)

洋上風力発電所の建設と運営・維持管理には下図のように多種多様な船舶が利用されています。

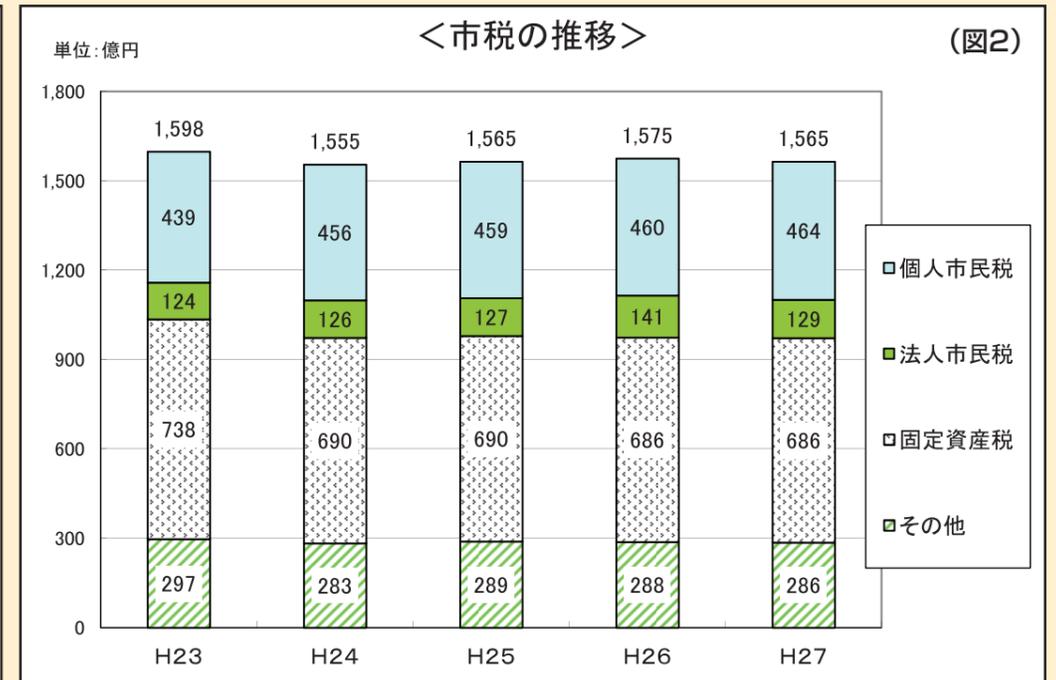
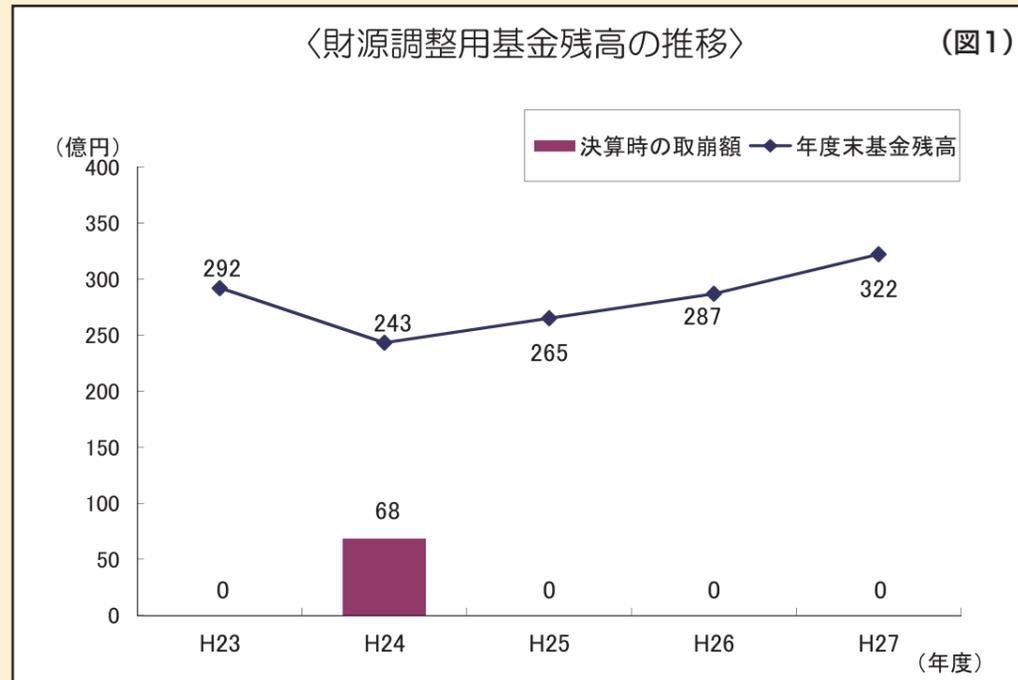


また今後の目玉施策は洋上風力発電です。響灘沖に40~50基、計15万~20万KWの発電所を建設します。洋上風力発電は陸上風力発電に比べ安定した発電が期待でき、また低周波等の被害も少なく世界中では急増中であり、風力発電は現在原子力発電と同等の容量でももたず原発を抜く見込みです。洋上風力発電は1基に2万個の部品が必要で、部品メーカーや組み立て工場を周辺に集積させ製品を響灘だけでなく国内外出荷することを目指しています。平成36年までに1,000人の雇用を創出する予定です。北九州が大きく羽ばたくチャンスです。皆さんご期待ください!

ご存知ですか? 北九州最高! 「移住したい街No.1、子育てしやすい街No.1」なんです!!

今まで北九州と言えば「怖い街」とか「公害で汚い街」など悪いイメージで言われることが多かったのですが、最近では宝島社「田舎暮らしの本 2016年8月号」50歳から住みたい地方ランキング第1位、NPO法人の子育てによるランキング「次世代育成環境ランキング」5年連続政令指定都市第1位、日経DUAL共働き 子育てしやすい街ランキング地方編 第2位と移住や子育てにおいて最高の評価を得ています。また女性自身 2016年9月6日号では「生活天国No.1」との記事が掲載されました。これは出産や小児科も含めた医療機関・介護施設の充実や物価や土地の安さ、待機児童ゼロ等の評価の高さの影響です。その他にも鮮魚も新鮮で食べ物もおいしく、それなりに都会で近くに海や山があるなど実は全国で有数の住みよい街なのです。皆さん、自信を持ってPRしてください!

平成27年度 決算報告

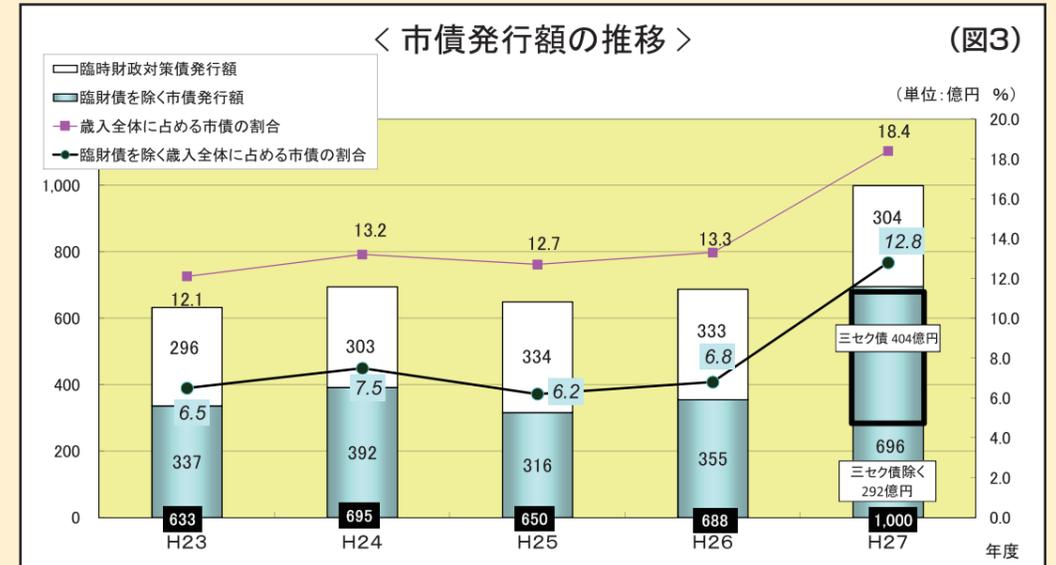


◎財政の安定性

市財政の安定性のバロメーターは市の貯金にあたる「財源調整用基金」(図1)です。平成27年度財源調整基金残高は前年度から35億円増加し、322億円となりました。他の財政の健全化を判断する比率も問題ないことから平成27年度決算において、安定した運営ができていると思います。

◎歳入

市税収入(図2)では給与所得等の増加により個人市民税は対前年度3億6,100万円増の464億300万円、法人市民税は法人税割税率が引き下げられたことにより対前年度11億8,200万円減の128億8,900万円、固定資産税は新規設備投資の増はあったものの地価の下落などにより、5,100万円減の685億7,700万円となりました。市税収入全体では対前年度9億7,800万円減の1,565億7,800万円、また国からの仕送りにあたる地方交付税等は対前年度48億4,300万円減の810億9,300万円となりました。市債発行額は昨年度港湾用地の整理をするために発行した三セク債(404億円)(図3)等のため、前年度340億8,900万円増の696億1,900万円です。



◎歳出

人件費、扶助費(福祉関係費)、公債費(1年間での借金の返済費用)からなる義務的経費は、対前年度7億3,400万円増の2,566億600万円となりました。その内訳をみると人件費は支給人員の減等により、対前年度5億5,100万円減の651億7,500万円、扶助費は障害福祉関係経費の増等により、対前年度19億1,300万円増の1,270億7,800万円、公債費は元金償還額の減等により対前年度6億2,800万円減の643億5,300万円です。また高齢化に関係する福祉医療関係繰出金(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計への一般会計からの繰出し金)は高齢化の進展により対前年度42億800万円増の1,717億7,700万円です。今後ますます増加することが予想されます。(図4)公共事業費にあたる投資的経費は対前年度58億4,500万円減の645億3,800万円となりました。

